

令和元年度 室戸市立室戸中学校 学校評価書（最終評価）

学校教育目標 「 学びあい 支えあい 高まりあう 室戸中学校 」

項目	中・長期経営目標	短期経営目標	主な取組内容	取組内容の評価指標	自己評価		学校関係者評価			
					達成状況	評価	改善方針	評価書	評価	
確かな学力	<p>○ 知識・技能の確実な定着と活用、課題解決力の育成</p> <p>1 全国学力・学習状況調査の国語は全国平均+5ポイント、数学は全国平均以上、高知県学力定着状況調査県平均+3ポイント以上</p> <p>2 (生徒質問紙) 肯定群90%以上</p> <p>3 学年に応じた学習時間、1日の家庭学習時間が1時間未満の生徒の割合25%未満</p>	<p>① 全国学力・学習状況調査全国平均以上、高知県学力定着状況調査県平均+3ポイント以上</p> <p>② (生徒質問紙) 肯定群90%以上</p> <p>③ 学年に応じた学習時間、1日の家庭学習時間が1時間未満の生徒の割合25%未満</p>	<p>・ 室戸中学校の授業スタンダードに基づいた公開授業研、全員授業研の実施</p> <p>・ 研究主題に沿った講師招聘研修の企画・実施</p> <p>・ 教科間連携と授業実践力向上を目指し、教科チーム会の実施</p>	<p>・ 授業評価アンケート肯定的評価85%以上</p> <p>・ 研究職員の実施(月1回)</p> <p>・ 講師招聘研修の実施(各部会1回)</p> <p>・ 教科チーム会の実施(月2回以上)</p>	<p>・ スタンダードに基づいた公開授業研(6月美術 9月国語 2月英語)</p> <p>・ 講師招聘研修の企画・実施(各部会)</p> <p>・ 公開授業の企画・実施(各部会)</p> <p>・ 公開授業の実施(月1回)</p> <p>・ 4月研究主題について 5月救命救急講習 6月授業研究(美術) 7月オンデマンド研修</p> <p>・ 9月授業研究(国語) 10月講師招聘研修(道徳) 12月講師招聘研修(道徳) 1月道徳公開授業</p> <p>・ 2月授業研究(英語)</p> <p>・ 教科チーム会を週時間に入れて実施</p> <p>・ 全国学習状況調査(中長期目標 国語+5P 今年度 +4.2P)</p> <p>・ 学習シートの活用率 100%</p>	B	<p>・ 今後も全教科共通理解を図り、授業改善、授業研究に取り組んでいくとともに、室戸市三校連絡会でも研究の重点となった「話す・聞く」力の育成に向けて、各教科で言語活動の充実も行っていきます。</p> <p>・ 今年度から教科間連携を意識してチーム会を実施したが、三部会や研究推進委員会の連携による効果的なチーム会を行っていく必要がある。</p> <p>・ 来年度は、チーム会を利用して、お互いの授業を見合う回数を増やしていく。</p>	<p>・ スタンダードに基づいた授業研究や校内研修が計画的に行われており、成果を上げています。言語活動の充実を図るとともに、チーム会の中身についても改善して行って欲しい。</p> <p>・ チーム会の実施をはじめとする授業改善が進んでいること、互いに授業を見合う取組が進められていることは素晴らしい。事後研のポイントを重点化することにより、改善の具体が明確になるので、次年度の研究に期待したい。</p> <p>・ 取組への評価は高いと思う。</p> <p>・ 評価アンケートでも肯定的な評価が多く、更なる向上に期待します。</p>	B	
					<p>・ 毎時間のねらいの提示 98.9%</p> <p>・ 授業アンケート(自分の考えを発表できる機会 88.8%)</p> <p>・ 授業アンケート(話し合う活動をよく行う 89.0%)</p> <p>・ 室戸中学校スタンダードの共通理解を図り、各授業でほぼ授業の目標やねらいの提示ができています。また、「聞く・話す」を意識した授業づくりが実践されており、各教科における言語活動の充実も行われてきた。</p> <p>・ 生徒会の自治活動の授業評価・チャイム席運動も、全校で高い意識で取り組まれている。</p>	B	<p>・ 授業スタンダードの実践を継続して取り組んでいく。五教科では「考えを発表する機会」と「話し合う活動」は形として定着してきているので、技能教科では教科の特性上数値があまり高くないので、評価指標の見直しも必要である。また、研究主題に「表現できる」という方向性を掲げているので、相手に分かるように話したり、聴いたりできる活動の質を高めていく。</p>	<p>・ 発表や話し合いに対する生徒の評価が高いのは素晴らしい。さらに、ペアやグループ活動を意図的に取り入れ、生徒主体の授業づくりを行っていただきたい。</p> <p>・ 学習したことを他教科や日常生活の中で活用することは難しさもあるが、実社会により近い中学校で、教科横断的に学ぶことには大きな意義がある。単元計画、年間計画をふまえた指導を期待する。</p> <p>・ 取組への評価は高いと思う。</p> <p>・ 評価アンケートでも肯定的な評価が多く、更なる向上に期待します。</p>	B	
					<p>・ 家庭学習の手引き作成・活用</p> <p>・ 家庭学習1時間を超える内容の課題設定の研究(授業の振り返りと関連づけて)</p> <p>・ 学習シート(国・数・理・英)の活用</p>	B	<p>・ 家庭学習の手引きは配布したが、活用についての共通理解や研究・改善ができていない。</p> <p>・ 自主学習ノートの内容改善に向けた生徒会活動の新たな取組の成果が見られる一方、家庭学習の質を高める研究や取組は不十分であった。</p> <p>・ 家庭学習時間 1時間以上 83%</p> <p>・ 学習シートの活用率 100%</p>	<p>・ 家庭学習の手引きを配布するなど、一定の手立てはしているが、通常の宿題の内容や授業と関連した課題を与える工夫も必要である。</p> <p>・ 家庭学習時間が少ないという全体的な状況がある中で、83%の生徒が1時間以上学習している結果は評価できる。質の向上のために更なる取組の充実を期待する。</p> <p>・ 取組への評価は高いと思う。</p> <p>・ 保護者への呼びかけを強化して、家庭学習の質の向上に期待します。</p>	B	
					<p>・ 講師招聘の校内研実施</p> <p>・ 道徳アンケート「自分には良いところがあると思う」80%以上</p> <p>・ 道徳アンケート「周りから大切にされていると思う」80%以上</p>	B	<p>・ 講師(東部教育事務所)招聘研修により、道徳の授業についての研修を深めることができた。</p> <p>・ 道徳アンケート結果「自分には良いところがあると思う」(昨年度68.7%)</p> <p>・ 人権アンケート「周りから大切にされていると思う」(昨年度80%)</p>	<p>・ 道徳の授業づくりを中心にして、人権教育への取組が計画的になされている。「大切にされている」は高い数値を示しているが、一人一人の内面に迫る取組を大切にしたい。</p> <p>・ 研究実践が進むと自己評価が厳しくなる傾向はあると思う。肯定的な声かけを全学年で意識統一することにより、更に伸びると思える。</p> <p>・ 取組への評価は高いと思う。</p> <p>・ 自他共に長所を認識して、それを伸ばすよう、家庭・学校が協力して取り組む必要がある。</p>	B	
豊かな心	<p>○ 豊かな人間性や自尊感情を高め、学びに向かう力の育成</p> <p>1 道徳アンケート肯定群80%以上</p> <p>2 学校生活アンケート肯定群90%以上</p> <p>3 生徒指導上の課題の減少</p> <p>・ 不登校出現率2%以下</p> <p>・ Q-U満足群80%以上</p> <p>・ 学校評価</p> <p>・ 保護者アンケート肯定群80%以上</p> <p>・ 学校関係者評価委員会B評価以上</p>	<p>① 他者への思いやりや学校生活に意欲的に取り組む姿勢</p> <p>② 不登校及び傾向生徒出現率2%以下</p> <p>③ 学校評価アンケート肯定群80%以上</p> <p>学校関係者評価 B評価以上</p>	<p>・ 道徳・人権意識アンケートの分析から成果と課題の検証</p> <p>・ 道徳・人権教育についての研究を推進する</p>	<p>・ 講師招聘の校内研実施</p> <p>・ 道徳アンケート「自分には良いところがあると思う」80%以上</p> <p>・ 道徳アンケート「周りから大切にされていると思う」80%以上</p>	B	<p>・ 今年行った道徳の公開授業に向けた取組を更に進化させていく。</p> <p>・ 年齢的に自分自身を客観的に捉えるようになったために年度末に数値が低くなったとも考えられるが、今後は自信を持って教員や仲間からの認め合う場面や声かけを増やしていく。</p> <p>・ 「周りから大切にされている」については、全体では、数値の上昇が見られたが、学年によってばらつきが見られたので、日頃の教育活動の中で生徒を肯定的に受け止めて、ほめる場面を増やしていく。</p>	<p>・ 道徳の授業づくりを中心にして、人権教育への取組が計画的になされている。「大切にされている」は高い数値を示しているが、一人一人の内面に迫る取組を大切にしたい。</p> <p>・ 研究実践が進むと自己評価が厳しくなる傾向はあると思う。肯定的な声かけを全学年で意識統一することにより、更に伸びると思える。</p> <p>・ 取組への評価は高いと思う。</p> <p>・ 自他共に長所を認識して、それを伸ばすよう、家庭・学校が協力して取り組む必要がある。</p>	B		
			<p>・ 夢プロの経験による肯定的評価の実践</p> <p>・ 生徒会、専門委員会による、自治活動の活性化</p> <p>・ 校内支援委員会の定例開催</p> <p>・ 生徒会が中心となった「いじめ防止」</p> <p>・ 「SNS三ヶ条」への取組</p>	B	<p>・ 校内支援委員会の開催は、毎月2回着実に実施できた。</p> <p>・ 不登校及び不登校傾向の生徒出現率は、4%以下</p> <p>・ 道徳アンケート「いじめはどんな理由があっても、いけないことだと思う」98%</p>	<p>・ 校内支援委員会の開催は、毎月2回着実に実施できた。</p> <p>・ 不登校及び不登校傾向の生徒出現率は、4%以下</p> <p>・ 道徳アンケート「いじめはどんな理由があっても、いけないことだと思う」98%</p>	B	<p>・ 特別支援教育学校コーディネーターの働きにより、校内支援委員会を定期的に実施し、生徒への支援に生かされている。今年実施した関係機関も含めた拡大支援委員会を今後も実施し、更なる生徒への支援につなげていきたい。</p> <p>・ 改善の傾向の見られない不登校及び不登校傾向の生徒に対しては、進路と結びつけた指導と支援を考えていきたい。</p> <p>・ 「いじめはいけないことだと思う」を100%にするために、学校全体で人間関係づくりを力を入れ、道徳教育及び人権教育を推進する。</p>	<p>・ 校内支援委員会は定期的にきちんと行われており、情報共有と支援体制はできています。今後、関係機関も含めた組織的な生徒指導の充実が望まれます。</p> <p>・ 生徒指導の三機能を重視した授業をすることにより、学びが深まり、生徒同士が結びつくと感じる。生徒理解のための今後の取組に期待する。</p> <p>・ 取組への評価は高いと思う。</p> <p>・ 生徒目線で指導ができていて充実している。</p>	B
			<p>・ 生徒会活動による異学年交流活動の実施</p> <p>・ 行事を通して、関わり合い、高め合う集団の育成</p>	B	<p>・ 学校生活アンケート「学校が楽しい」90%以上</p> <p>・ Q-U満足群80%以上</p>	<p>・ 学校生活アンケート「学校が楽しい」1年生93.8%、2年生96.7%、3年生86.4%、3年生の数値が低いものの、多くの生徒が楽しくと答えている。</p> <p>・ Q-U満足群は、1年生75.8%、2年生82.1%、3年生65.9%、これも3年生の数値が気になる。</p>	<p>・ 多くの生徒が「学校が楽しい」と答えている。今後も異学年の交流活動や生徒主体の学校行事に力を入れて取り組み、関わり合い、高め合う力を育てていきたい。</p> <p>・ Q-Uの結果をしっかりと受け止め、しんどい子どもを中心とする学級経営及び学校経営を行っていく。</p>	<p>・ 「学校が楽しい」が高い数値を示しているのは評価できるが、Q-U満足群との差を考えたとき、学級での人間関係づくりの活動、生徒会活動の活性化に積極的に取り組む必要がある。</p> <p>・ 各種学校行事を通して、生徒が大きく成長している様子が窺える。</p> <p>・ 「学校が楽しい」アンケートは、もっと詳しい分析が必要と感じられた。</p> <p>・ リーダー意識を高める必要がある。</p>	B	
健やかな体と命	<p>○ 生徒が、「運動の楽しさや、喜びを味わい、自ら考えたり工夫したりしながら運動の課題を解決する力」がついている状態となる</p> <p>1 全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果</p> <p>男子・全国平均以上</p> <p>女子・全国平均以上</p> <p>生活スタイルアンケート結果</p> <p>A11時までの就寝70%以上</p> <p>A17時までの起床90%以上</p>	<p>① 31年度全国体力・運動能力・運動調査結果(2年生体力) T得点全国比</p> <p>A男子・・・3.0</p> <p>イ女子・・・1.0</p> <p>② 生活スタイルアンケート結果</p> <p>A11時までの就寝・・・70%</p> <p>イ7時までの起床・・・90%</p> <p>ウ朝食の摂取率・・・95%</p> <p>エ毎日の排便・・・85%</p>	<p>・ 体育の授業研の実施</p> <p>・ 筋力・持久力を高めるため始業時のランニングやリズムジャンプを継続実施</p> <p>・ 自分たちで考えた補強運動を行う</p>	<p>・ 31年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査</p> <p>結果(2年生体力)</p> <p>T得点全国比</p> <p>A男子・・・3.0</p> <p>イ女子・・・1.0</p>	C	<p>・ 授業内容などにより、積極的に補強運動の実施を取り入れることを継続して考えていきたい。</p> <p>・ グランドでの授業時には600mを走り、体育館ではリズムジャンプや馬跳びなどを取り入れ運動量の確保に努め、運動能力や体力向上に繋げる。</p> <p>・ 昨年度、男子は6項目全国を上回ったが今年は3項目上回る結果となった。同じく女子は2項目上回ったが今年は1項目上回るのみとなった。体育の授業は楽しいと思う肯定的な解答は男子90%、女子89.5%という結果だが、結果が下がった理由として考えられることは、運動部加入率が29.4%ということも背景にあると考えられる。</p>	<p>・ 近年、課題となっている女子の体力づくりは、体育の授業の工夫と共に、小中連携も踏まえた全校的な取組が必要な段階であろう。</p> <p>・ 体育の授業以外で運動をする女子が少なくなっているのは、小学校でも課題である。部活動と関連させることや学校全体での共通した取組を工夫する必要がある。</p> <p>・ 運動嫌い、能力低下は、小学校との連携を強く望みます。</p> <p>・ 他校の取組を参考にし、強化を図ってほしい。</p>	C		
			<p>・ 校内支援委員会への取組</p> <p>・ 生活リズム表の実施・分析・発信・取組</p> <p>・ 保健便りの発行</p>	B	<p>・ A11時までの就寝・・・52% (12時までの就寝：82%)</p> <p>・ イ7時までの起床・・・77%</p> <p>・ ウ朝食の摂取率・・・100%</p> <p>・ エ毎日の排便・・・89%</p> <p>・ 個人目標を設定し、生活の振り返りを行い毎学取り組んだ。生徒保健委員会が結果と考察を発表したり生活リズムについてプレゼンをしたり、生活リズムの重要性の意識づけを継続して行ってきた。三者面談では、個人的生活リズム表を見ながら生活改善の確認を行った。</p> <p>・ 2月現在、定期版を20号、号外版も発行している。</p>	<p>・ 継続して保健委員会の活動を行う中で、学級や集会での働きかけを、より一層効果的なものとする取り組みが必要である。</p> <p>・ 生活リズムについては、スマホ・ネット利用がかなり影響しているため、スマホに対する生徒会の取組の強化と定期的に全校で学習していくことも必要である。</p> <p>・ メディアとの付き合い方については課題が多い。小中が共通した取組を進めるなど、改善が必要である。</p> <p>・ 食育等、家庭と連携した健康管理を強化する必要がある。</p>	C			
			<p>・ 生徒の自尊感情、達成感が高まるような活動の推進</p> <p>・ 生徒の負担軽減、教員の働き方改革の視点で、部活動の運営について見直しを行う</p>	B	<p>・ 部活動経営計画による部活動の実施</p> <p>・ 顧問会の実施(学期に1回以上)</p> <p>・ 活動時間及び休養日を全体で統一</p> <p>・ 休養日については、週2日とする</p>	<p>・ 部活動については、活動方針通りの練習時間や休養日で、部活動を計画的に実施できている。</p> <p>・ 部活動の顧問会は、「今後の部活の在り方」についてという内容で、不定期ではあるが実施することができた。</p>	<p>・ 部活動については、活動方針通りの練習時間や休養日で、部活動を計画的に実施できている。</p> <p>・ 部活動の顧問会は、「今後の部活の在り方」についてという内容で、不定期ではあるが実施することができた。</p>	B	<p>・ 今後も活動方針通りの練習時間及び週2回の休養日を確実に実施していく。</p> <p>・ 生徒数の減少で部活動の運営が難しく思われる。教育課程外のことではあるが、生徒の心身の成長のためには果たすべき役割は大きい。今後も工夫改善し、望ましい部活動の在り方について再考してほしい。</p> <p>・ 他校合同先の各顧問と連携して、充実を図る必要がある。</p>	B
保護者・地域との連携	<p>○ 保護者や地域との連携に基づく、信頼関係の構築</p> <p>○ 学校支援地域本部等の導入</p>	<p>① 保護者アンケートの肯定的評価のうち、「そう思う」の割合を40%以上</p> <p>② 定期的に学校便りのHPアップ</p> <p>③ 安心安全な教育環境の整備</p> <p>④ 学校支援地域本部の推進</p>	<p>・ 参観日等行事の複数回案内、報道への情報提供等</p> <p>・ ホームページの内容充実と速やかな更新</p> <p>・ 学校支援地域本部の実施</p> <p>・ 学校関係者評価委員会を計画的に実施</p>	<p>・ 行事参加者10%増</p> <p>・ 報道への情報提供は、年3回以上</p> <p>・ HP項目の増、学校便り発行後3日以内に更新</p> <p>・ 学校支援地域本部の実施</p> <p>・ 学校評価の意見を学校運営に反映</p>	B	<p>・ 行事等への案内は、年間を通じ学校・学級便り・各種案内等でも着実にやってきたが、参加者を10%以上増やすまでは至らなかった。</p> <p>・ 報道への情報提供は、「自転車マナーアップ推進校」の1回のみであったが、生徒会を中心に、いろいろな行事等に声をかけていただき、広く活動ができた。</p> <p>・ ほとんど毎月ホームページの更新を行うことができた。</p> <p>・ 学校評価アンケート「学校は、学校の情報を、懇談や学校便り等で保護者に知らせるよう努めていると思いますか」肯定群87.4%(昨年度比+0.7)</p>	<p>・ 行事等への案内については、回数や内容を工夫すると共に、学級通信をもっと増やし、日常的な生徒の様子を知らせていくことが大切である。</p> <p>・ 学級通信などを発行することにより、生徒の学校生活をタイムリーに家庭に知らせることも改善策の一つではないだろうか。</p> <p>・ 地域との連携等、取組の積極性が問われ高く評価したいと思います。</p> <p>・ HP等の内容の充実が進んでおり、評価できる。</p>	B		
			<p>・ 避難訓練年間3回以上実施</p> <p>・ 防災学習を計画的に実施(年間5時間以上)</p> <p>・ 地域と連携した防災活動を実施</p> <p>・ 非行防止教室、交通安全教室等、各種出前授業の計画的な実施</p>	B	<p>・ 津波の避難訓練は、各学期ごと3回実施できた。</p> <p>・ 防災学習は、各学年単位で着実に実施できた。</p> <p>・ 地域と連携した防災活動は、避難訓練1回のみであった。</p> <p>・ 非行防止教室、交通安全教室、心肺蘇生法教室等、関係機関と連携した授業を計画的に実施した。</p>	<p>・ 津波の避難訓練は、各学期ごと3回実施できた。</p> <p>・ 防災学習は、各学年単位で着実に実施できた。</p> <p>・ 地域と連携した防災活動は、避難訓練1回のみであった。</p> <p>・ 非行防止教室、交通安全教室、心肺蘇生法教室等、関係機関と連携した授業を計画的に実施した。</p>	<p>・ 学校が津波浸水区域にあるので、避難訓練と防災学習は、様々な場面を想定して、定期的に実施すべきであり、中から地域と連携した取組もつなげてほしい。</p> <p>・ 地域の中の学校という立場で防災教育を進めていくことは大切であり、必要である。家庭との連携は、具体的に何か取り組んでいますか。(小学校の場合は、引き渡し訓練等)</p> <p>・ A評価が良いと思います。</p> <p>・ 自転車の危険性を生徒に周知し、マナーアップを強化する必要がある。</p>	B		